

2024年度 第424回教育研究審議会議事要録

日時 2024年4月23日（火）13:30～14:37
場所 本館 E-701 会議室
出席者 柳井学長、漆原副学長、上江洲副学長、内田副学長、後藤副学長、中本事務局長、武井外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、中武国際環境工学部長、西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、寺田学生部長、狭間教務部長、廣渡基盤教育センター長、篠崎入試センター長、浅羽情報総合センター長、井上環境技術研究所長、二宮図書館長

配布資料

- 1-1 教育職員の休職（更新）について
- 1-2 欠員補充申請書（文学部）
- 1-3 欠員補充申請書（文学部）
- 1-4 欠員補充申請書（文学部）
- 1-5 欠員補充申請書（基盤教育センター）
- 1-6 欠員補充申請書（基盤教育センター）
- 1-7 欠員補充申請書（基盤教育センター）
- 2 再任審査委員会の設置について
- 3 「（仮称）情報イノベーション学部」新設に伴う入学定員の変更について
- 4 2024年度に実施する入学試験スケジュール
- 5 能登半島地震に伴う学生等の対応の現況について
- 6 2023年度 広報活動報告

第1号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、教育職員の休職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料1-2のとおり、文学部からの申請に基づき、2024年3月31日付で退職した中山 俊准教授の後任として、フランス語圏文化担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-3のとおり、文学部からの申請に基づき、2023年2月10日付で離職した高西 敏正准教授の後任として、社会学（若者論）担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-4のとおり、文学部からの申請に基づき、2024年3月31日付で定年退職した小賀 久教授の後任として、多文化共生論担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-5のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、2025年3月31日付で退職する伊野 憲治教授の後任として、社会学、共生社会論またはダイバーシティ論関連分野担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-6のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、2025年3月31日付で退職する伊藤 晃教授の後任として、言語学、または関連分野担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料1-7のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、2024年3月31日付で定年退職した柏木 哲也教授の後任として、応用言語学・英語教育学、または関連分野担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 再任審査委員会の設置について

* 資料2のとおり、再任審査委員会の設置について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 新学部設置に伴う入学定員の変更について

* 資料3のとおり、について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 2024年度に実施する入学試験スケジュールについて
- ② 地域共生教育センター 能登半島地震に伴う学生等の対応の現況について
- ③ 2023年度広報活動報告について

その他

・第423回教育研究審議会 第1号議案に対する質問への回答及び対応状況について報告

教育課程の再編に関する審議において、「アクティブ・ラーニング科目の定義を教えて欲しい。」と質問が出たがその場で回答が出来ず、後日、通知することとしていた。

本件について、本学におけるアクティブ・ラーニングの定義は、文部科学省用語集を参照することとし、これを4月10日にメールにて全学部へ通知したことを報告。併せて、下記を読み上げて確認したもの。

（アクティブ・ラーニングとは）教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認

知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。(文部科学省の用語集より)